

2023年度 大学院入学試験（秋季）問題用紙《専門》

修士課程
教育発達学専攻
一般入学試験 (A方式)

受験番号	氏名

(2 - 1)

《解答別紙》

1. 修士課程で研究しようとしている内容について説明しなさい。
また、その研究分野における位置づけや研究の意義について述べなさい。

2023年度 大学院入学試験（秋季）問題用紙《専門》

修士課程
教育発達学専攻
一般入学試験 (A方式)

受験番号	氏名

(2 - 2)

《解答別紙》

II. 次のAからFの6問中4問答えなさい。選択した問題の記号を解答用紙の（ ）に記入すること。

<心理学領域>

- A. コールバーグ (Kohlberg, L.) の道徳的判断の発達段階について説明しなさい。
- B. 質問紙を用いた調査法のメリットとデメリットを、実験法や面接法と比較して述べなさい。

<教育学（初等教育）領域>

- C. 「モンテッソーリ教育」について説明しなさい。
- D. 「GIGA スクール構想」について説明しなさい。

<障害科学領域>

- E. 自閉スペクトラム症/自閉症スペクトラム障害について説明しなさい。
- F. 特別支援教育コーディネーターについて説明しなさい。

2023年度 大学院入学試験（秋季）問題用紙《専 門》

修士課程
教育発達学専攻
社会人経験者 (B方式)

受験番号	氏 名

(2 - 1)

《解答別紙》

1. 修士課程で研究しようとしている内容について説明しなさい。
また、その研究分野における位置づけや研究の意義について述べなさい。

2023年度 大学院入学試験（秋季）問題用紙《専門》

修士課程
教育発達学専攻
社会人経験者 (B方式)

受験番号	氏名

(2 - 2)

《解答別紙》

II. 次のAからFの6問中2問答えなさい。選択した問題の記号を解答用紙の（ ）に記入すること。

<心理学領域>

- A. コールバーグ (Kohlberg, L.) の道徳的判断の発達段階について説明しなさい。
- B. 質問紙を用いた調査法のメリットとデメリットを、実験法や面接法と比較して述べなさい。

<教育学（初等教育）領域>

- C. 「モンテッソーリ教育」について説明しなさい。
- D. 「GIGA スクール構想」について説明しなさい。

<障害科学領域>

- E. 自閉スペクトラム症/自閉症スペクトラム障害について説明しなさい。
- F. 特別支援教育コーディネーターについて説明しなさい。

2023年度 大学院入学試験（春季）問題用紙《英語》

修士課程
教育発達学専攻 一般入学試験 (A方式)

受験番号	氏名

(2 - 1)

《解答別紙》

《英和・和英辞書使用可》《電子辞書不可》

次の文章は、“Essentials of Social Emotional Learning (SEL): The Complete Guide for Schools and Practitioners”と題する著書の一部である。文章を読み、以下の問いに答えなさい。

著作権の関係で掲載できません。

2023年度 大学院入学試験（春季）問題用紙《英 語》

修士課程
教育発達学専攻 一般入学試験 (A方式)

受験番号	氏 名

(2 - 2)

《解答別紙》

《英和・和英辞書使用可》《電子辞書不可》

著作権の関係で掲載できません。

<出典> Donna Lord Black (2021). *Essentials of Social Emotional Learning (SEL): The Complete Guide for Schools and Practitioners (Essentials of Psychological Assessment)*, NJ, John Wiley & Sons, Inc. (一部改変)

<問> 下線部①～④を和訳しなさい。

2023年度 大学院入学試験（春季）問題用紙《専門》

修士課程
教育発達学専攻
一般入学試験 (A方式)

受験番号	氏名

(2 - 1)

《解答別紙》

1. 修士課程で研究しようとしている内容について説明しなさい。
また、その研究分野における位置づけや研究の意義について述べなさい。

2023年度 大学院入学試験（春季）問題用紙《専門》

修士課程
教育発達学専攻
一般入学試験 (A方式)

受験番号	氏名

(2 - 2)

《解答別紙》

II. 次のAからFの6問中4問答えなさい。選択した問題の記号を解答用紙の（ ）に記入すること。

<心理学領域>

A. 足場かけ（Scaffolding）について説明しなさい。

B. 交互作用効果（Interaction Effect）について説明しなさい。

<教育学（初等教育）領域>

C. 令和2年度に文部科学省が行った調査の結果、「小・中学校の在籍児童生徒数が減少しているにもかかわらず、不登校児童生徒数は8年連続で増加し、54.9%の不登校児童生徒が90日以上欠席しているなど、憂慮すべき状況にある。」と報告されている（「令和2年度 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果について」令和3年10月13日通知より）。これを踏まえ、不登校児童生徒への支援の充実が求められている。これに対し、不登校児童生徒が増加している要因を示し、不登校児童生徒への支援について具体的な事例をあげて説明しなさい。

D. Project Based Learning について、具体的な事例を挙げて説明しなさい。

<障害科学領域>

E. 個別的教育支援計画について説明しなさい。

F. 発達性協調運動症について説明しなさい。

2023年度 大学院入学試験（春季）問題用紙《専門》

修士課程
教育発達学専攻
社会人経験者 (B方式)

受験番号	氏名

(2 - 1)

《解答別紙》

1. 修士課程で研究しようとしている内容について説明しなさい。
また、その研究分野における位置づけや研究の意義について述べなさい。

2023年度 大学院入学試験（春季）問題用紙《専門》

修士課程
教育発達学専攻
社会人経験者 (B方式)

受験番号	氏名

(2 - 2)

《解答別紙》

II. 次のAからFの6問中2問答えなさい。選択した問題の記号を解答用紙の（ ）に記入すること。

<心理学領域>

- A. 足場かけ (Scaffolding) について説明しなさい。
- B. 交互作用効果 (Interaction Effect) について説明しなさい。

<教育学（初等教育）領域>

- C. 令和2年度に文部科学省が行った調査の結果、「小・中学校の在籍児童生徒数が減少しているにもかかわらず、不登校児童生徒数は8年連続で増加し、54.9%の不登校児童生徒が90日以上欠席しているなど、憂慮すべき状況にある。」と報告されている（「令和2年度 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果について」令和3年10月13日通知より）。これを踏まえ、不登校児童生徒への支援の充実が求められている。これに対し、不登校児童生徒が増加している要因を示し、不登校児童生徒への支援について具体的な事例をあげて説明しなさい。
- D. Project Based Learning について、具体的な事例を挙げて説明しなさい。

<障害科学領域>

- E. 個別の教育支援計画について説明しなさい。
- F. 発達性協調運動症について説明しなさい。